



美杉中学校だよい

みんなが幸せになれる学校
すんで学び行動しよう
ぎぶあっぷしない

第12号
令和7年12月23日発行
美杉中学校長
北川 健太郎

内容の濃い2学期 本当におつかれさまでした。

77日の授業日からなる、1年間で一番長い2学期が終わりました。みなさん、本当に疲れさまでした。また保護者、地域の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

暑かった9月初めから、紅葉がきれいだった秋、そして寒さが厳しくなった12月まで、みなさんは、しっかりと学校の活動に取り組んでくれました。下の写真から、いろいろと振り返ってもらえたたらと思います。



新年を迎えるにあたって

だんだんと少なくなっている年賀状。年賀状じまいという言葉まで広がってきました。という自分も、年々出す年賀状も減り、来る年賀状も減っています。昔は、みかんの汁であぶり出しどと、プリントゴッコが流行った時代もありました。（生徒のみなさんは知らないかも。）

さて、年賀状は、新しい年を祝うとともに、旧年の感謝を伝える習慣です。ということで、みなさんにしてもらいたいのは、年賀状を出す出さないは別として、みんなの学校生活を支えてくれている人、関わってくれている人を思い出し、感謝の気持ちを持つことです。その気持ちを伝えられたら、なお良いかと。みんなの生活は、お家の方と先生たちだけでなく、他にも地域の方、用務員さん、バスの運転手さん、給食調理員さん、教育委員会の方、習い事の先生などなど、数えきれない多くの人により成り立っています。今の学校生活を当たり前と思わず、有難いという感謝の気持ちを持ってください。

3学期の始業式では、また元気な姿を見せてもらいたいと思います。健康、事故等に注意して、年を越してください。令和7年は、大変お世話になるとともに、素敵な時間がありましたが、令和8年がみなさんにとって、よい年になりますように。